

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス LUMO南浦和校		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 5日		2026年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	2026年 2月 5日		2026年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 17日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の専門性	モニタリングで詳細なヒヤリングを行うこと。 社会性と運動面の2つを中心に保護者と話をしている。	話をしていく中で、自事業所で強化していくものを明確化させる。 現在の取り組みを継続して行えるように職員間で共有する。
2	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援	原始反射を背景とした運動メニューを多くのバリエーションで提供している。 集団療育の利点を活かして、社会性も育むように取り組んでいる。 月間目標を立てるなど、可視化してわかるように工夫している。	研修などを通して、原始反射などの専門性の知識を深めていく。 社会性も学べるようなセッション内容にすることを職員間で共有。
3	利用者への説明を詳細にわかりやすく伝えている。	個別支援計画や、支援内容、利用者負担などの説明を丁寧に伝えている。 口頭だけで伝えるのではなく、文面でもお伝えをしている。	職員全体が説明できるように全体の連携を図っていく。 保護者説明会なども行い、定期的に理解できる場を設ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時の対策、保護者に対しての伝達。	緊急連絡先のファイルがあるなど、緊急時の対策は出来ているが、どのように動くのかを保護者の方に見える化が出来ていない。	定期的に緊急時の対策の見直し・改訂を継続していく。 救急要請、AED使用、感染症対策等、職員間で実施しているこどもたちの安全を守る取り組みについても、保護者と共有できるよう様々な形で発信していく。
2	地域交流などの、地域、家族へのかかわり。	保護者説明会や自校舎での採用セミナーなどの実施を始めた。始めた段階なので、周知が届いていない。 継続して行えるようにしていく。	継続して行えるように、職員を本部と協力して増やしていく。 LINEで周知をするなど、全体の発信を強めていく。
3	職員が不足している。	退職者や休職者が出ており、他校舎から人員を借りての運用になっている。	本部と協力して安定した運営ができるように連携していく。